

まえがき

第7回研究集会は、平成7年11月の9日と10日の両日、松山市道後の「メルパルク松山」において、「中国・四国地域の連携・バージョン2」というテーマで開催されました。本書はその報告書です。

広島大学地域経済研究センターが創設されて以来、こうした研究集会を毎年度開催してきましたが、今年度の研究集会は初めて広島を離れて、松山市で開催致しました。

研究集会を松山市で開催しましたのは、本センターの客員研究員としていつも広島での研究会などにご参加を頂き、ご貢献を賜っている愛媛大学の柏谷増男教授と(株)いよぎん地域経済研究センターの方々の熱心なご勧誘を頂いたからです。本センターがかねてから中国地域と四国地域との連携の重要性を提唱してきた経緯もあり、四国の方々のご厚情に甘えることに致しました。主催も従来のような本センターと地域経済研究推進協議会だけでなく、四国経済連合会、それに中国経済連合会との共催ということにさせて頂きました。

今回の研究集会も、例年の通り2日間にわたって開催しました。初日は、基調講演とパネル討論会を行いました。今回の研究集会の共通テーマは「中国四国地域の連携」です。それは、国の政策が地域連携軸とか地域交流圏を重視する方向に向けられようとしている中で、当地域において本州・四国間の架橋が相次ぎ、中国と四国の交流が盛んになることが期待されているからです。

それに中国地域と四国地域は、それぞれ人口にしても生産活動にしても小さな存在に過ぎず、わが国の中であまり重視されていませんが、中国地域と四国地域が連携して経済・文化の交流圏を形成すれば、日本海・瀬戸内海・太平洋の3海をもち、中国山地と四国山地の2つの山をもつ「三海二山」の地域として、わが国のみならず、世界に類のない素晴らしい地域として注目されるものと思われます。

こうした観点から私が基調講演をさせて頂き、これを受けて「中国四国の経済交流」というテーマでパネル討論会を開き、愛媛大学の柏谷増男教授の司会のもと、松江・広島・松山のそれぞれを代表する経済人の方々のご議論を賜りました。広い地域に跨っ

て経済活動をされてきた経済人の方々のご意見だけに、すでにかんがりの経済交流が中国四国地域で行われているという実感を持たせて頂きました。

2日目は、四国地域を代表する4つの民間シンクタンク、それに中国地域の民間シンクタンクからも、地域経済に関する研究をご報告頂き、それぞれ予定討論者と活発なご討論を賜りました。中国地域と四国地域における大学と民間のシンクタンクの研究交流が進み、地域経済研究のネットワークができようとしているように思いました。

地域の皆様方のご協力により、研究集会には初日160名、2日目120名に上る多数の方々のご参加を賜り、極めて有意義な成果をあげることができました。

本書を作成するにあたり、パネル討論の司会者、パネリスト、座長、研究報告者および討論者の方々、その他関係各位のご協力に深く御礼申し上げます。

平成8年3月

広島大学経済学部附属

地域経済研究センター長 櫟 本 功